

きざばし

校訓 心美しき二中生たれ 心強き二中生たれ
ひたちなか市立勝田第二中学校
学校だより 第11号
令和4年2月2日(水)

穏やかに迎えた新年も、1月が足早に過ぎ、梅香る2月になると今年度も残すところ2ヶ月となります。2月3日は「節分」、4日は「立春」と暦の上では春になりますが、まだまだ寒い日が続くのが現実です。

新型コロナウイルス感染症拡大により、全国的にまん延防止等重点措置が発令され、茨城県でも1月27日(木)から2月20日(日)まで全県下に適応されています。これ以上の感染拡大を防ぐため、基本的な感染症予防対策を徹底しての日常生活を強いられています。みんなで声を掛け合いながら力を合わせて乗り越えていきましょう。茨城版コロナNext判断指標もStage3へ引き上げられました。小学校は2月10日までリモート対応となっていますが、中学校は通常の学校生活となっています。部活動については、平日の活動は実施していますが、土日の活動については、感染状況等を見極めながら判断していきます。現在のところ今週末の2月5日(土)・6日(日)の活動は中止とします。ご家庭でも、2月の「保健だより」を参考に再度感染症予防について確認をお願いします。

さて、3年生は受験シーズンに突入し、1月は私立高校の推薦入試・一般入試の試験・発表が続き無事終了しました。これから県立高校入試が始まりますが、更なる3年生の健闘を祈っています。

今年度も残り2ヶ月となり、まとめの時期となりました。全校生徒で落ち着いた学校生活に心がけ、1・2年生は今月中旬に実施される学年末テスト、3年生は県立高校入試に万全の態勢で臨んでほしいと強く願っています。

寒さに負けず、一人一人が充実した学校生活を過ごせるよう、全力で支援していきますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

校長 高木 克己

トピックス

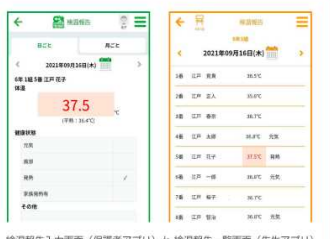
「節分には、どうして鬼がくるの?どうして、豆をまくの?」

節分(2月3日)は、「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味をこめて、悪いものを追い出す日。「鬼は外、福はうち」と言いながら豆まきをします。節分という言葉には、「季節を分ける」という意味があります。昔の日本では、春は一年のはじまりとされ、特に大切にされたようです。そのため、春が始まる前の日、つまり冬と春を分ける日だけを節分と呼ぶようになったそうです。ちなみに暦の上で春が始まる日を「立春」と呼びます。悪いものを「鬼」と呼び、悪いもの(鬼)を追い払い、良いもの(福)を呼び込むために、豆まきをする風習が始まったそうです。悪(鬼)に炒った豆をぶつけて、悪いものを追い出すというイメージです。豆まきの豆、“大豆”にはたくさんの栄養が含まれていることから、悪を追い出すパワーがいっぱいつまっています。皆さんも「鬼は外!福はうち!」のかけ声と共に、豆をまいて鬼(悪)をやっつけましょう。

検温報告をお願いします

体調・健康状態のチェックも確実に
検温報告機能

欠席連絡のほかにも、子どもの健康状態を把握・共有する機能として「検温報告」が追加され、学校・家庭間での子どもの体調に関する連絡もHome&School上で行えるようになりました。紙媒体でのやり取りをデジタル化し、変化を見逃さない仕組みで、ひと目で子どもたちの体調を捉え、学校生活がより安心になる仕組みづくりを応援します。



検温報告入力画面(保護者アプリ)と検温報告一覧画面(先生アプリ)

Home&Schoolによる検温報告と健康観察をお願いします。主アカウントをお持ちの方、副アカウントをお持ちの方、どちらの方でも入力できます。操作にお困りのことがありましたら遠慮なく学校まで連絡ください。